

<入稿ガイド>

印刷すぐするネットでは、業務の正確性及び印刷事故の防止を目的として以下の通り入稿ガイドを定めております。本入稿ガイドに沿ったデータをご準備頂くことで、より正確にかつ安全、スピーディーにお客様の元へ高品質な印刷物をお届けすることが可能となります。是非、本ガイドをご一読頂き、ガイドに沿ったデータ入稿を行って頂きますようお願い申し上げます。

また本ガイドに於いて不明な点がございましたら、お気軽に下記連絡先までお問い合わせ下さい。

入稿ガイドお問い合わせ先
株式会社トーレン・デジタルテクノセンター
お問合せ受付時間：平日 9:00～17:00
TEL：048-266-1726
FAX：048-261-5970
Email：odpsupport@toren-pr.co.jp

1.1 ご注文・入稿時にご準備頂くもの

弊社へご注文・入稿頂く際は以下の材料をご用意下さい。

- DTP データ
- DTP データ入稿仕様書（必要に応じて[ここから仕様書をダウンロードできます](#)）
- 出力見本・色見本・現物など（メディア送付の場合）
- 外字データ（必要に応じて）

1.1.1 DTP データ入稿仕様書

印刷出力に関する仕様及びデータ作成時の環境等をまとめたものを添付して下さい。入稿仕様に記載される内容は以下の項目を想定しております。

- データ作成に使用されたアプリケーション名
- アプリケーションやデータのバージョン
- バリアブル印刷依頼時のバリアブルデータ仕様（どのデータが何を示しているのかが分かる程度で結構です）・バリアブル項目設定位置・条件判定等（男女で画像を差替える、数値が××以上場合は赤色太文字にする等の指示）
- データ中に使用されているフォント
- 外字の使用有無
- 出力色ターゲット（JapanColor2001, 2007 など。指定がない場合はトーレン・スタンダードカラーで出力します）
- 後加工の種類（断裁・中綴じ・ホチキス・角背綴じなど）

（必要に応じて[ここから仕様書をダウンロードできます](#)）

1.1.2 出力見本・色見本・現物

既に他社様において出力されている印刷物やオフセット印刷等で実物見本がある場合はメディア送付時に併せてご提供下さい。また出力現物がない場合は、お客様のお手元のプリンター等で出力されたもので、かつご依頼者様のチェック済み印刷物をご提供頂いてもかまいません。

注意 出力見本は、あくまで「見本」であるため、完成印刷物をご提供頂いた見本とイコールにはならない場合があります。特に他社印刷物との色合わせ、オフセット印刷物との色合わせなど、出力見本を印刷したプリンターや印刷機の特性差異（主にインクジェットとレーザープリンターとの違い）により、見本と仕上がりの色味が異なる場合があります。

1.1.3 外字

印刷物に外字が含まれている場合は外字データも入稿時に併せてご提供下さい。ご提供頂くファイルは「EUDC.TTE」です。

1.2 メディアについて

メディア送付の際のデータは以下のメディアにてお願い致します。

メディア	送付方法	通常データ
CD-R / CD-RW / DVD±R / DVD±RW	宅配便・郵便など（元払い）	○

注意

- ☑ MOによるデータ受付サービスは終了致しました。
- ☑ 入稿時にお渡し頂いたメディア類の返却はできませんのでご了承下さい。
- ☑ マスターデータはお客様にて管理をお願い致します。弊社ではお預かりしたデータの長期保管は行いません。

受付可能なデータ形式について

弊社にて受付可能なデータ形式は以下の通りです。

◆ネイティブ・データ

アプリケーション名	仕様
Adobe Photoshop	CS 5.5 以下のバージョンに対応 ※推奨入稿データは CS3 以降です。
Adobe Illustrator	
Adobe InDesign	
Microsoft Word	Office 2010 以下まで対応 ※推奨入稿データは Office2007 以降です。
Microsoft Excel	
Microsoft PowerPoint	

※MS-OFFICE での入稿の際は、ご注文の画面で MSOFFICE 変換サービスのオプションを選択してください。

◆スタンダード・データ

データ形式	対応仕様及びバージョン
PDF (※)	PDF-X1a 基準
	PDF-X3 (Microsoft Office データを PDF にする場合は PDF-X3 以降を推奨します。)
	PDF-X4
PostScript	PostScript Level1~2 及び 3 ※推奨入稿データは PostScript3 です。
EPS	PostScript Level3

注意 PDF データは、Acrobat Distiller または Adobe CreativeSuite の「PDF 形式で保存」以外で作成されたものは原則受付できません。クセロ PDF や PrimoPDF 等の 3rdParty 製 PDF 生成ソフトやフリーソフトで作成された PDF は印刷用データとして使用できません。

1.3 アプリケーション・フォーマットごとの制作規定

1.3.1 Adobe Creative Suite 共通

Adobe CreativeSuite シリーズ (Photoshop/Illustrator/InDesign) で制作する場合、以下の点にご留意頂きデータの制作及びデータ提供をお願い致します。

制作規定のサマリ

項目	規定
データサイズ	印刷原寸で作成
トンボ	必須 (トンボなしの場合は断裁加工ができません)
塗り足し	必須 (塗り足しのないものは断裁時に白場が出る可能性があります)
カラーモード	原則 CMYK
リッチブラックの濃度制限	280%まで (例: CMYK=(50% : 40% : 30% : 100%))
フォント	・埋め込み又はアウトライン化 (アウトラインは印刷時に想定よりも文字が太る可能性があります) ・特殊なフォントは入稿時にアウトライン化を行って下さい。
画像	・原則 100%サイズで使用して下さい ・塗り足しとして拡大する場合は 102%を目処として下さい ・画像の拡大使用は解像度が低下するためお勧めしておりません
画像解像度	通常印刷 300dpi 以上 (推奨 350dpi) ~ 600dpi 以下
リンク画像 (OPI)	使用不可 (全てデータに埋め込んで下さい)
オーバープリント	原則オフ (意図してオーバープリントを使用している場合は入稿時に予めお知らせ下さい。)
白色オーバープリント	禁止 (オブジェクトが消失する印刷事故の原因となります。)
透明効果の取扱	グラデーション及び透明効果は、「分割・統合」を行って下さい。
その他効果の取扱	・ベクトルデータに特色塗りを指定して「効果」を適用する場合「特色を維持する」に効果を適用する前にチェックを付けて下さい ・ベクトルデータにパターン塗りを適用する場合、入稿時に塗りをラスターライズして下さい。
ヘアラインの設定	0.3pt 以上 (設定値 0.3pt 未満の場合、印刷時にかすれが発生したり、細線が消えてしまう場合があります。)
特色	・Pantone, DIC 対応 (CMYK に分解されます。) ・カスタム特色は CMYK 値で指定して下さい。
後加工等	・製本加工する場合、綴じ方向にあったページ体裁で作成して下さい。(例: 横書き→左綴じ仕様 縦書き→右綴じ仕様)

1) カラーモードの変換について

CMYK 以外のカラーモードで作成された版面や画像データは、弊社規定に基づき色変換を行います。弊社規定は以下の通りです。

対象オブジェクト	レンダリングインテント
写真 (画像)	相対的な色域を維持 (Relative)
図/表/グラフ (ベクターイメージ)	相対的な色域を維持 (Relative)
文字 (テキスト)	彩度 (Saturation)

2) バリアブルプリント依頼時の画像作成について

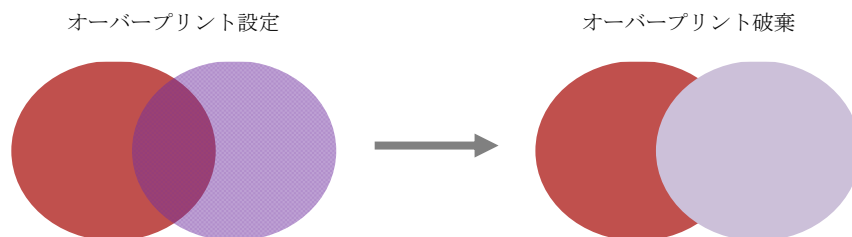
画像解像度は、特にバリアブルプリント時における処理速度に大きな影響を与えます。バリアブルプリント用の切り替え画像をご用意頂く場合は、制作時の画像解像度を守って頂き、画像は「マスキング」ではなく「トリミング」を行って下さい。

注意

☞ マスキングで画像の見当を付けたデータは、マスターデータとして保管しておきましょう。トリミングをしたデータをマスターデータとすると、画像の修正が入った場合、修正できなくなるケースが出てきます。

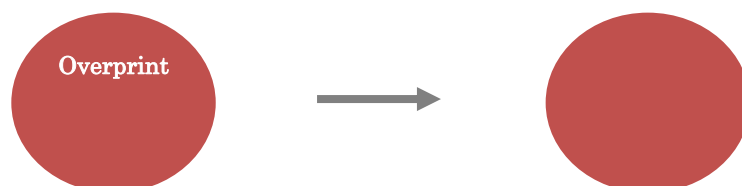
3) オーバープリントの取扱について

弊社ではオーバープリントは破棄して印刷します。オーバープリントを意図して使用している場合は、入稿時にオーバープリント処理が必要との旨、お伝え下さい。



4) 白色オーバープリントの取扱について

白色オーバープリントは、印刷時にオブジェクト消失の原因となるので設定しないでください。



1.3.2 Microsoft Office (Word/Excel/PowerPoint) 共通

Microsoft Office シリーズ (Word/Excel/PowerPoint) のデータを入稿する場合、以下の点にご留意頂きデータの制作及びデータ提供をお願い致します。

制作規定のサマリ

項目	規定
データサイズ	印刷原寸で作成
用紙サイズ	規格サイズを推奨 ※規格外サイズを指定する場合は 0.5mm 単位でサイズ指定を行って下さい。
トンボ	原則なし (断裁なし) ※ご相談下さい
塗り足し	原則なし (断裁なし) ※ご相談下さい
フォント	フォント埋め込み又は弊社標準フォントのみで作成 8pt 以下のサイズは指定しない (文字欠けが発生します。)
外字	フォント埋め込み又は「EUDC.TTE」ファイルを提供して下さい
画像	原則 100%サイズで使用して下さい
画像解像度	300dpi 以上 (推奨 350dpi) ~ 600dpi 以下
透明効果の取扱	使用不可
塗りつぶしパターン効果の取扱	使用不可
ワードアートの取扱	使用不可
その他の効果の取扱	使用不可 (影・ぼかし効果・透かし効果)
ヘアラインの設定	0.5pt 以上 (設定値 0.5pt 未満の場合、印刷時にかすれが発生したり、細線が消えてしまう場合があります。)

1.3.3 Microsoft Office 制作にてご留意頂きたい点

1) Microsoft Office の印刷時のカラーについて

Microsoft Office は印刷専用のソフトウェアではないため、原稿作成時のカラーモードが「RGB」となっています。カラーモードは印刷時に弊社規定に基づき、色変換を行います。弊社規定は以下の通りです。

対象オブジェクト	レンダリングインテント
写真（画像）	相対的な色域を維持（Relative）
図/表/グラフ（ベクターイメージ）	相対的な色域を維持（Relative）
文字（テキスト）	彩度（Saturation）

注意

Microsoft Office データは、色変換を行うと色味が大きく異なる結果となる場合があります。色見本を添付頂いても同じ色味に変換できないことがあります。

2) バージョンの差異による文字ズレなど

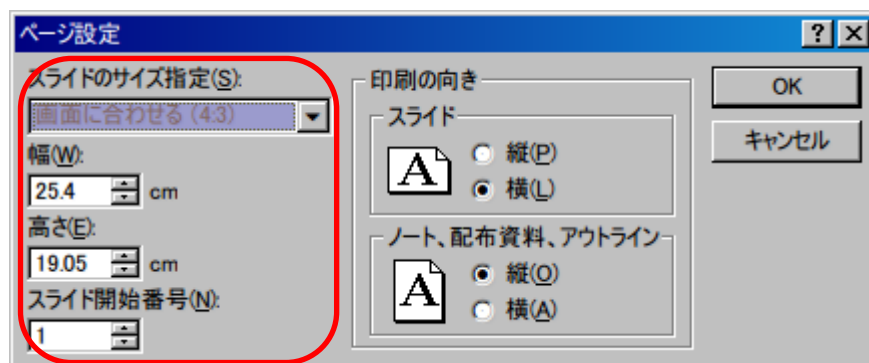
弊社の Microsoft Office データ印刷時の仕様バージョンは 2010 です。上位バージョンとの互換性は 2010 に依存します。特に、Microsoft Office97～2003 までの旧フォーマットでは文字ズレ・ページズレが発生する可能性があります。

弊社では、Microsoft Office データを印刷前に PDF を生成しお客様へ校正用途として配布します。体裁ズレがないか事前に必ずご確認くださいませようお願い致します。

3) Microsoft PowerPoint による制作について

PowerPoint はドキュメントの新規作成時デフォルトの画面サイズ（印刷サイズ）が「画面に合わせる（4:3）」となっているため、印刷時に A4 等の規格サイズに引き延ばすと、版面全体がゆがむ可能性があります。

印刷を行うドキュメントを作成する場合は、予めスライドのサイズをターゲットとする用紙サイズに設定してから作成を行って下さい。

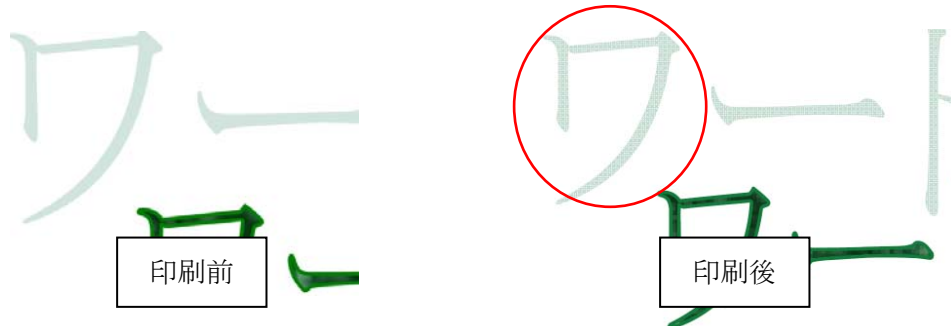
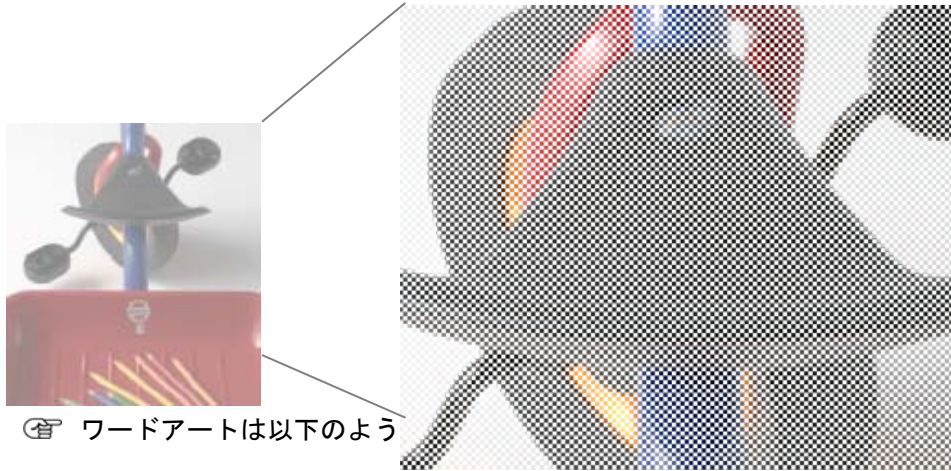


4) 各種効果について

Microsoft Office 製品は簡単に飾り文字を作成したり画像の加工をする機能がついておりますが、これらの表現効果は印刷には向かない形で処理されています。そのため、下記効果が使用されているデータは印刷時に意図しない印刷結果となるため、効果使用を不可としております。

効果の種類	使用不可の理由
透過性（透明効果）	印刷時に透明部分が網点化され画質が低下するため。
パターン効果	印刷時に画面表示よりもパターンが細かく印刷され、色目が大きく変わるため
ワードアート	ワードアートの表現自体に透過性（透明効果）が使用されている場合が多く、印刷時に画質が低下するため。
その他の効果（影・ぼかし効果・透かし効果）	効果自体に透過性（透明効果）が使用されているため、印刷時に透明部分が網点化され画質が低下するため。

☞ 透明効果は以下のような状態に変換されます。



1.3.4 PDF 生成共通

PDF 入稿は以下の規定に従って作成された PDF の入稿をお願い致します。

1) PDF 生成に使用するソフトウェア

ソフトウェア名	対応バージョン
Acrobat Distiller	Version 5※ ~ X (10)
PDF Maker	Microsoft Office 2000~2010
PDF Library	Adobe CreativeSuite CS~CS5.5

- ☞ PDF Maker は、Acrobat Distiller がインストールされている PC に Microsoft Office のアドオンとして組み込まれるソフトウェアです。
- ☞ PDF Library は Adobe CreativeSuite でデザインを「保存」する際に、PDF を選択した際に自動的に使用される PDF のライブラリです。
- ☞ Microsoft Office 2007 から実装された PDF ダイレクト保存機能を使用して生成された PDF は弊社にてデータ確認後、印刷カンパをお客様へお渡し致しますので、体裁の確認をお願いいたします。
- ☞ Microsoft Office で作成したデータを PDF に変換して入稿する場合は、Distiller による変換ではなく、PDF Maker による変換をお勧めします。詳しくは「1.3.5 Microsoft Office からの PDF 書き出し」を参照して下さい。

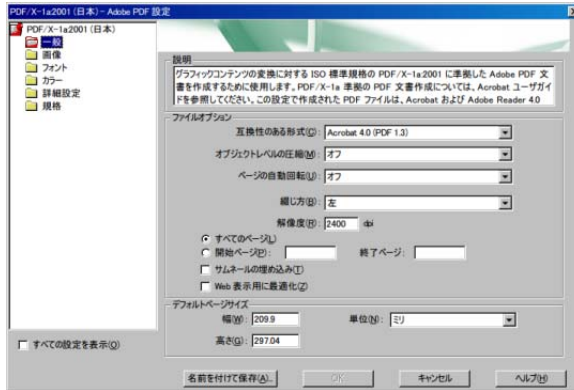
注意 上記以外のソフトウェアで生成された PDF は印刷用途には向きません。上記ソフトウェアを所有していないお客様は PDF による入稿は行わず、制作ソフトウェアのデータそのものを入稿するようにして下さい。ご不明な点は弊社担当営業へお問い合わせ下さい。

※ PDF/X-4 への対応は Acrobat Distiller 9 以降です。

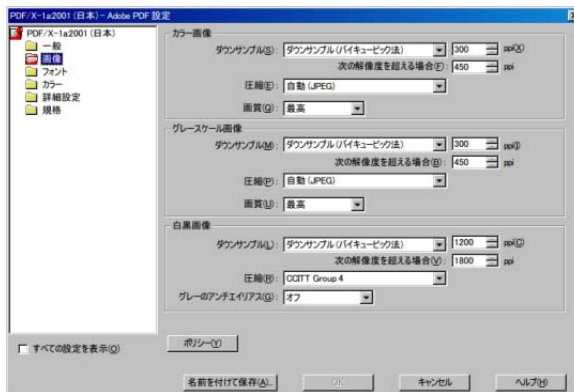
1) PDF の仕様

PDF 生成時は、PDF を生成するソフトウェアにおいて、以下の通り設定をお願い致します。本書では Acrobat Distiller 8 の設定項目を用いて、PDF 仕様をご説明致します。なお、設定が明記されていないものはソフトウェアのデフォルト値を使用して下さい。

a) PDF-X1a 仕様



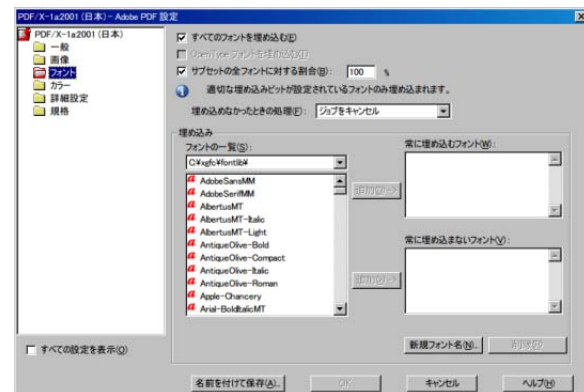
※互換性のある形式は Acrobat 1.4 (PDF 1.3) を必ず選択して下さい。

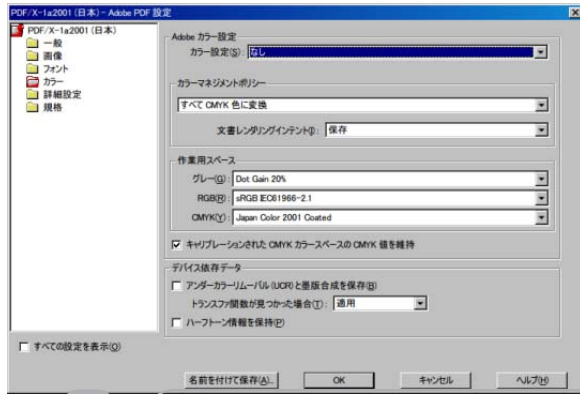


※カラー画像の解像度は、特に品質を重視する場合はダウンサンプル(バイキュービック法)によるリサンプル解像度を 350dpi に設定して下さい。

※「すべてのフォントを埋め込む」にチェックをつけてください。

※サブセットの全フォントに対する割合 100%にセットして下さい。

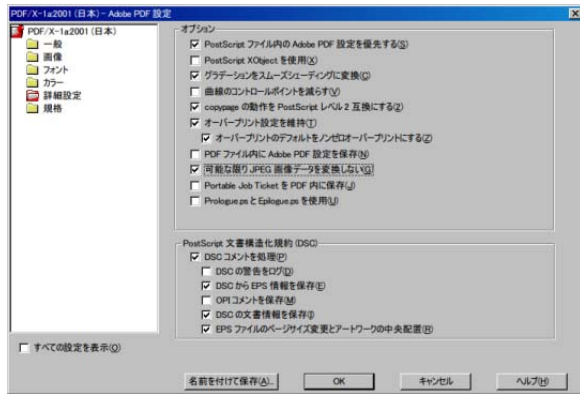




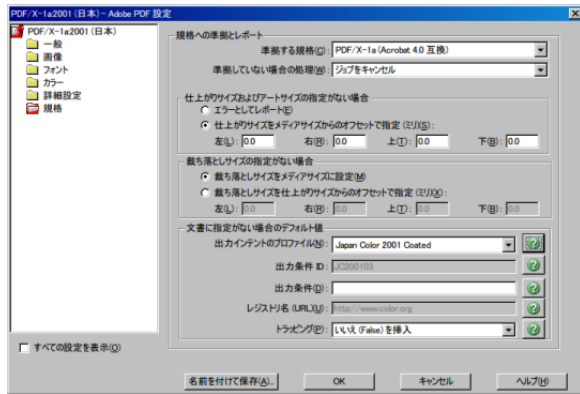
※カラーマネジメントポリシーは「すべて CMYK 色に変換」を選択して下さい。

注

「すべて CMYK 色に変換」を選択すると、PDF を生成する時点でデータが CMYK 色に変換されます。なお弊社プリントシステム上で色変換を行いたい場合は、「カラー変更なし」を選択するか、PDF-X3 規格で変換して下さい。この設定値でデータを入稿頂いた場合 PDF-X1a の規格からは外れることとなりますが、弊社にてより自然な色合いで色変換を行うことが可能です。



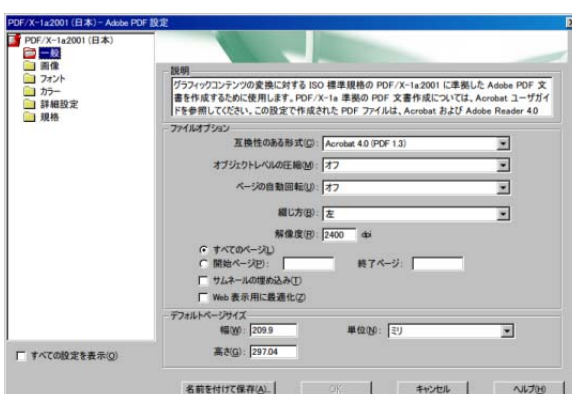
※詳細設定はデフォルトのままにして下さい。



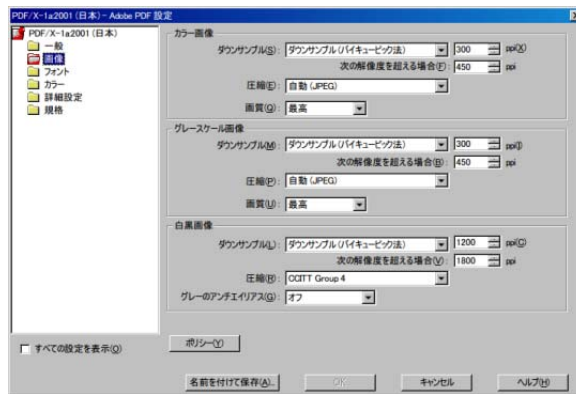
※準拠する規格は「PDF/X1a (Acrobat 4.0 互換)」を選択して下さい。

※カラーマネジメントポリシーを「カラー変更なし」に設定した場合は「準拠していない場合の処理」を「続行」に変更して下さい。

a) PDF-X3



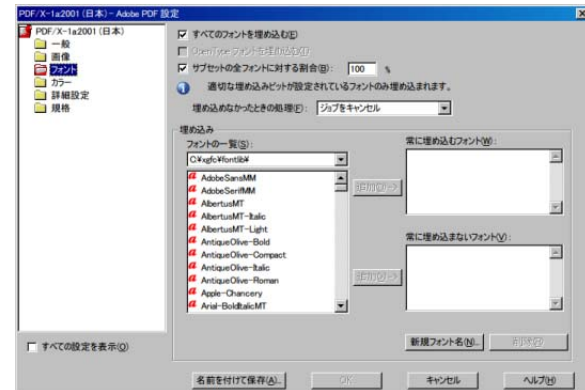
※互換性のある形式は Acrobat 1.4 (PDF 1.3) を必ず選択して下さい。

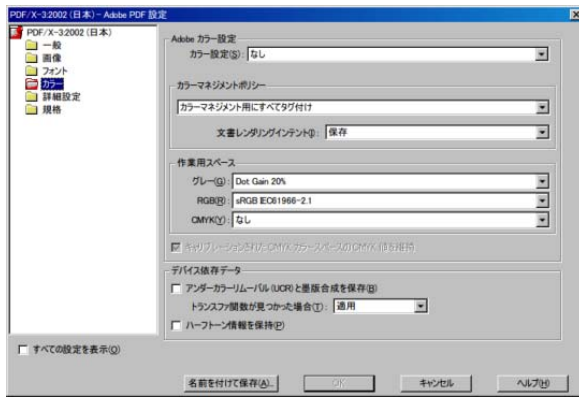


※カラー画像の解像度は、特に品質を重視する場合はダウンサンプル(バイキュービク法)によるリサンプル解像度を350dpiに設定して下さい。

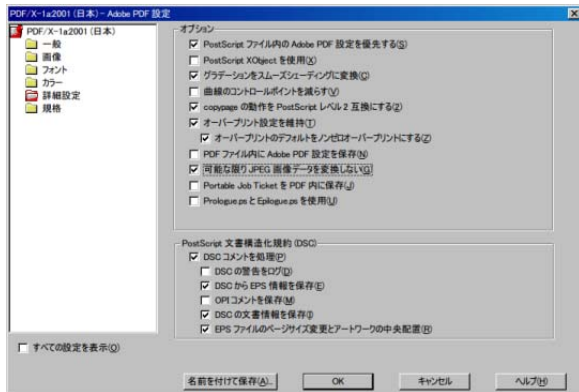
※「すべてのフォントを埋め込む」にチェックをつけてください。

※サブセットの全フォントに対する割合 100%にセットして下さい。

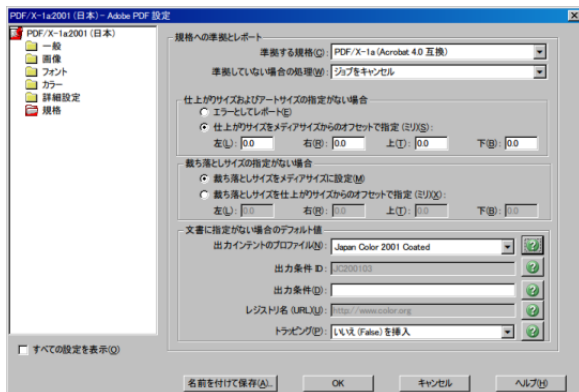




※カラーマネジメントポリシーは「カラーマネジメント用にすべてタグ付け」を選択して下さい。



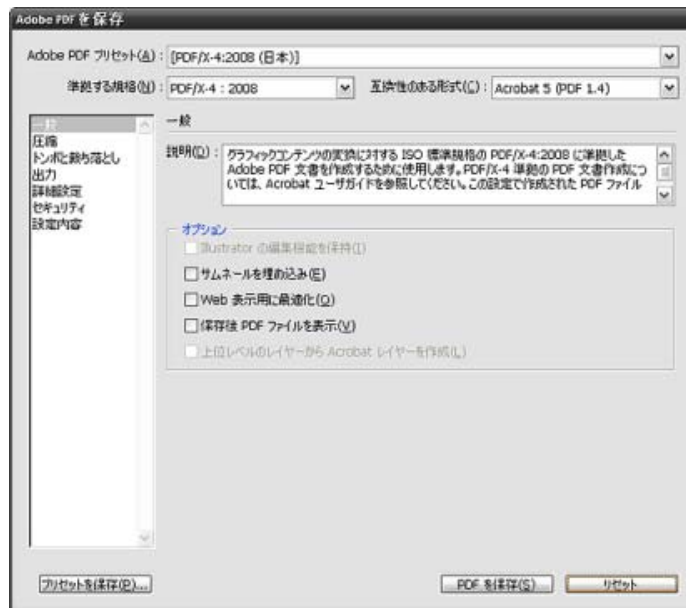
※詳細設定はデフォルトのままにして下さい。



※準拠する規格は「PDF/X-3 (Acrobat 4.0 互換)」を選択して下さい。

a) PDF-X4

PDF-X4 は Acrobat Distiller からは変換できません。PDF-X4 規格による入稿を行う場合は Adobe CreativeSuite 3 以降を使用して下さい。



データを保存する際に、形式で「PDF」を選択します。

保存時に Adobe PDF プリセットから「PDF /X-4 : 2008 (日本)」を選択し、保存して下さい。

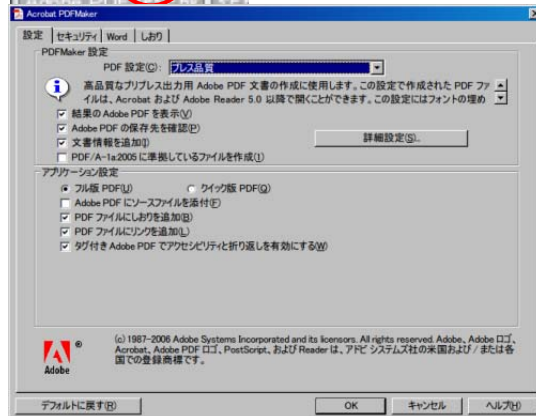
1.3.5 Microsoft Office からの PDF 書き出し

Microsoft Office から PDF データを書き出して入稿する場合は、以下の規定に従って生成して下さい。

1) PDF 書き出し環境設定



最初に PDF の書き出しを行うための環境設定をおこないます。
Microsoft Office の Acrobat 機能から「環境設定」を開きます。



※PDF 設定から「プレス品質」を選択し、[OK] をクリックします。

注

上記の設定では、PDF を生成する時点でデータが CMYK 色に変換されます。弊社プリントシステム上で色変換を行いたい場合は、詳細設定の「カラー」設定項目からカラーポリシーを「カラー変更なし」に設定するか PDF-X3 規格で変換して下さい。この設定値でデータを入稿頂いた場合 PDF-X1a の規格からは外れることとなりますが、弊社にてより自然な色合いで色変換を行うことが可能です。

2) PDF 書き出し



「PDF を作成」をクリックし、作成された PDF を確認して下さい。PDF に表示された体裁で印刷されます。

1.1 出力仕様について

1.1.1 対応フォント

弊社出力対応フォントは以下の通りです。

デバイス	対応フォント
プリンター	MORISAWA PASSPORT 全 484 書体 ※ NewCID フォントのみ対応
Adobe CS 系 (Windows)	MORISAWA PASSPORT 全 484 書体
Adobe CS 系 (Macintosh)	※ OpenType フォント対応

注意 弊社のプリンタフォント出力環境は CID (NewCID) のみに対応しております。OCF フォントの出力はできません。OCF フォントを使用したデータを出力したい場合は弊社担当営業までご相談下さい。

1.1.2 対応 RIP

弊社 RIP 環境は以下の通りです。(2012 年 1 月現在)

RIP 種別	対応バージョン
CPSI	3017.102 (PDF 1.6 まで)
Adobe PDF Print Engine (APPE)	2.0

※PDF/X-4 は Adobe PDF Print Engine で RIP します。

1.2 弊社への印刷ご依頼に当たっての諸注意

1.2.1 ターゲット・プロファイルについて

印刷すぐするネットでは、デジタルオンデマンドプリンター全てに「トーレン・スタンダードカラー」を採用しております。お客様による色基準又は指定のプロファイルの添付がない場合は、「トーレン・スタンダードカラー」で印刷を行います。

☞ トーレン・スタンダードカラーとは？

写真印刷/印画紙の技術で定評を持つ富士フィルム株式会社の制定したプロファイルである「FF Standard」を、デジタルオンデマンドプリンター用にエディット、適用したターゲット・プロファイルです。

1.2.2 色評価環境について

デジタルテクノセンターでは色評価基準として、照明「D50 光源」色温度「5000K」の環境光のもとで評価を行います。お客様における色評価環境においても、上記条件を参考にして頂き、できるだけ同条件の元で色評価をお願いしております。

1.2.3 特色（スポットカラー）の取扱について

デジタルテクノセンターでは4色フルカラーオンデマンド機による出力を行っております。そのため、特色は全て CMYK 値に分解して印刷されます。企業ロゴなどカラーの一致性を重視する CI 印刷におきましては、オフセット印刷による事前用紙のご用意、または CMYK 値によるロゴ色見本をご用意致しますので弊社担当営業までご相談下さい。

1.2.4 後加工

綴じ方向とデータについて

綴じ方向にあったページ配置でデータを作成して下さい。